

夢 通信

夢をつなぐ 心をつなぐ 世界をむすぶ
きぬがわ せいさ こうぎょう

衣川製鎖工業株式会社



衣川 官介

『平成の大修理』

姫路城では『平成の大修理』が11月より始まりました。まずは資材を運ぶ通路の確保で、お城の東側、喜斎門橋の補強です。内堀の中にクレーンや重量物運搬車を入れるために、橋に負担がかからないよう、その上に鉄の橋を架けました。正月には大勢の人が登城しますから、それまでに終了すべく施工され工事期間は11月16日から12月30日まで、工事が終了し門内のスペースに共同企業体の工事事務所が建設されました。喜斎門の前は私が写真を撮る好みのポイントで晴天の日風がない午前中、堀に映る城が見事です。この写真も2014年の工事終了時まで撮せなくなりました。



前回の『昭和の大修理』から40年、壁や屋根など各所で傷みが目立ち始め、天守閣上層部の軒先などで漆喰（しっくい）の壁の変色や、カビの発生などがあちこちで起きています。瓦も一部が損傷し、瓦と瓦の間をつなぐ目地漆喰にも変色やはく落が見られます。さらに2004年の台風被害が漆喰壁や瓦に大きなダメージを与えました。今回の修理は化粧直しが重要な工事で、天守閣の1～3層で漆喰壁の表面を塗り直し、壁の傷みが激しい4～5層では下地から修理されます。又、天守閣の屋根瓦約7万3000枚は全面ふき替えられます。瓦のほとんどは再利用が可能で、ふき直した瓦は釘や銅線で補強されます。もう一つの工事は耐震補強で、4～6階が重点的に施工されます。資材を備前丸に運ぶ為のクレーンが立ち、天守閣と組み合わせられた写真はこれまでに見たことのない、特異な風景を醸し出しています。ちなみに、総工費は28億円かかるそうです。

4月12日、桜の終わった時季に、天守閣を覆う大屋根の工事が始まります。屋根の高さは53メートルもあります。ピンクの桜を帯に巻いた白亜の天守閣を見ることが出来るのはこの春だけです。是非、皆さんそれまでに姫路に遊びにきてください。お城の案内が必要であれば一声私にお掛けください。時間の許すかぎり対応させていただきます。もちろん土曜日・日曜日もOKです。



『鉄のふしぎ博物館』開館

来て！見て！ふれて！ ふしぎ体感

鉄を見る目が変わりますよ。
ぜひお越しください。

強力なネオジウム磁石



石ころ

見学にはご予約が必要です。申込書をメール又は FAX でお願ひします。様式は以下にあります。

<http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/museum/hushigi.doc>

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください！！